

モントリオール大学 (カナダ)

留学が始まり、約4ヶ月が経過しました。最高気温でさえマイナスになり、非常に寒い日が続いていますが、健康に毎日過ごせています。

12月中旬にすべての授業が終わりました。振り返ってみると、最初は色々と戸惑うことが多かったですが、授業では多くのことを学ぶことができ、無事このセメスターを終えることができ良かったです。授業形式や試験形式など日本の大学と違うところも多かったですが、自分にとって非常に良い経験になりました。

オレブロ大学 (スウェーデン)

パンデミック再拡大の影響で行動が制限され異なる寮の友達と遊ぶことも難しくなってきたが、その分これまで以上に友達との時間を大切にしようになった気がする。あと半月でほとんどの友達が帰国してしまうため、これからの時間を大切にしたい。

もうすぐ1セメスターが終了してしまうが、非常に充実した生活を送ることができたと思う。また、ヨーロッパから来た学生の学業や就職、人生に対する価値観や考え方が日本における常識的な考え方と違い面白いと感じた学期だった。友達との別れは悲しいが新たな出会いもあるため楽しみにしたい。

ド・モントフォート大学 (イギリス)

最終的に、Oriental Society, Women's Leadership Society, Baking Society, Yoga Society に入りました。Yoga以外は毎週イベントがあるわけではないですが、月に一回程度のペースでイベントがあり、交友関係も広がるので、積極的にSocietyに参加してよかったと思います。また、Intercultural Awareness Programのファーストワークショップが12月頭にありましたが、とてもインターナショナルな環境でいろいろなことを学びました。

International Welcome Weekで仲良くなった香港出身の子と、マレーシア出身の子とプチポットラックパーティーをしました。食材を用意して巻きずしを一緒に作ったらすごく喜んでくれました。巻きずしでもある程度上手く作れることが分かったので、また開催できたらいいなと思います。11月に急激に冷え込み、雪が降りました。日本よりも寒くなるのが早く、日も短いと感じます。最近は15時半頃に日の入りなので行動できる時間が短いです。

11月ころから徐々にイルミネーションの点灯がされたり、街にスケートリンクや観覧車が現れたり、街全体がChristmasの高揚感に包まれるようになり、現在はその高揚感がピークに達しています。日本では経験できない雰囲気なので、貴重な経験だと思いません。

イーストアングリア大学 (イギリス)

留学生活も3か月が経過しました。12月は最初のタームが終了する月であり、期末テストやクリスマス、年末年始のイベントなどとても忙しい月となりました。また、イギリスではコロナウイルスの変異株であるオミクロン株の流行に伴い、コロナ対策にまつわるルールにも変化がありました。幸い、私が滞在するノリッチでは感染はそれほど広がっていません。

イギリスでのクリスマスは家族で過ごすことが一般的であり、現地の学生の多くは、期末のテストが終わると寮を離れ、実家に帰り、家族とクリスマスを過ごしていました。クリスマス日に食べる料理はどれもかなり豪華なもので、日本と比べるとクリスマスがイギリス人にとってはどれほど大切な日なのかを体感することができました。また、コンビニエンスストアやスーパーマーケットなどほとんどの商業施設は休業していました。

期末テストは無事に合格することができ、一安心しています。1月は長期休み期間ですが、特に国外に出る予定もなく、現地の学生の友達も実家に帰っているので、ゆったりとした生活を送ることができそうです。

オウル大学 (フィンランド)

第2クォーター (11~12月) の履修内容

1. Entrepreneurial Leadership : 引き続き10個あるモジュールの課題作成に取り組んだ。1日時点で3つの課題が残っていたので、残り2週間でなんとか乗り切った。途中で課題を共同作成できることを知り、1つの課題のみ修士課程のフランス人と共同作成した。内容はベンチャービジネスのファイナンスについてだったが、彼が証券会社でインターンシップをしていたこともあり知識が豊富で非常に助かった。

2. Tandem Japanese : 12月で10時間ほどのタンデムをすれば2単位もらえるとのことだったので、異文化交流と言語習得を含めて学習した。合計3セッション行い、1度目はオンラインで、2度目は自身のフィンランド語の習得度の確認を兼ねてカフェでフィンランド語を用いてコーヒーを注文し、3度目はラーメンレストランでラーメンを食した後、アジアマーケットで買い物をした。最終的にフィンランド語をたくさん学べただけでなく、文化も知ることができたので、とてもいい交流になった。

3. Strategic Marketing Strategy : 月半ばのプレゼンテーション、月終盤のグループレポートに向けて、ひたすら環境(市場)分析に必要な資料を集めていた。グループワークなので全員のチームワークが必須だが、文化の違いによりミーティングに全員が集まらなかったり、教育の違いにより引用の形式がフォーマットに沿っていなかったりとたくさん苦労はあったが、いずれもなんとか乗り切ることができた。メンバーとの調整含め、今semesterで最も苦労した授業だった。

4. Entrepreneurship for Sustainability : 月初めに最終プレゼンテーション(ピッチ)を行った。ビジネスアイデアの発表だが、私達のチームは災害で家を失った人たちに仮設住宅を用意するというソーシャルコミュニティデザイン・ビジネスを考案(SDGs No.9)し、日本で培ったピッチの技術を総動員してプレゼンした。最終レポートが大半の成績を占めたので、合計15ページのLearning Portfolioを作成して講義を終えた。